

誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン

令和 7 年 5 月 1 日現在 江戸川区立瑞江第三中学校

全国学力・学習状況調査 A・B層の割合		
年度	国語	数学
令和 8 年度の目標	63.0%	60.0%
令和 7 年度の目標	58.0%	56.0%
令和 6 年度の結果	53.1%	51.1%
令和 5 年度の結果	55.6%	53.1%

令和 6 年度江戸川区学力調査結果 A・B層の割合			
学年	国語	数学	英語
第 2 学年	39.5%	41.4%	45.2%
第 1 学年	45.3%	51.8%	46.8%

 ともに、生きる。 江戸川区	目標達成に向けた取組		
	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<授業力向上> ・ゴール（ねらい）の設定と振り返り ・問いの工夫 ・気づきや答えを引き出す工夫と待つ努力 ・既習事項の活用と身に付いていない生徒への工夫 ・適切な効果測定の実施で生徒に自己調整力を育成	・学び合い授業による基礎学力の定着 ・数学・英語補習の活用 ・領域診断テストの実施	・ミライシード・SYENの活用 ・家庭学習やすき間時間の活用推進 ・定期考査前の学習計画表の作成および実施
特に支援が必要な児童・生徒への手だて	・「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体化させた授業で、安心して「聴き合い」、自己肯定感を高めながら自信をつけさせる	・グループ学習による「学び合い」や「共有」をすることで自ら学ぶ力をつけさせる	・1人1台端末を活用した、デジタルドリルによる学習習慣づくり
成果指標	・全国学力・学習状況調査において平均正答率を5%向上させ、数学のCD層を10%減少させる。 ・江戸川区学力テストにおけるAB層の割合50%以上を目指す。	・領域診断テストにおいて全教科標準平均51以上を目指す。 ・江戸川区学力テストにおいて、区の平均以上を目指す。	・全国学力・学習状況調査における家庭学習の時間、平均1時間以上の生徒の割合を70%に増加させる